

令和7年度 健康危機事象メンタルケア研修会実施要領

1 目 的

災害、事件、事故等健康危機事象により自分の生命に関わるような出来事を経験した者には、強い恐怖感や無力感、強い不安、緊張、過敏反応、不眠等様々な反応が現れることがある。これらの多くは強いストレス状況への自然な反応であり、時間の経過とともに軽快するが、適切なケアが受けられなかった場合等にはそれが遷延化し、PTSD 等の精神疾患を引き起こす可能性がある。

そこで健康危機事象発生時に支援者となりうる者が、被災者等の心理的安全を高め回復を助けるかわりについて学び、有事にはメンタルケアを含めた適切な支援を行うことができることを目的として研修を開催する。

2 日 時

令和7年9月10日（水） 9：30～12：00（9：15より受付）

3 場 所

佐賀県看護協会 看護センター 研修室1（2階 分割使用大）

4 対象者

- ① すべての県職保健師（臨時的任用職員を含む）、その他保健福祉事務所職員の受講希望者
- ② 市町保健師、各種窓口対応職員、学校教諭等健康危機事象発生時に支援者となる可能性がある方

5 研修内容

「WHO版『サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）を学ぶ』（講義及び演習）

*PsychologicalFirstAid（サイコロジカル・ファーストエイド）は心理的応急処置と訳し、支援者が共通して身につけておくべき心構えや対応をまとめたもの。被災者が二次被害を受けないようにするためのかわりや、尊厳と文化に配慮しつつ支援を行うための枠組みが示されている。また支援者自身のケアも重視されている。

PFAは、様々な国際的ガイドラインや組織において推奨されており、特にWHO版は実務者の意見が大きく取り入れられ、精神保健の専門家だけではなく幅広い職種の支援者に普及しやすく作られているという特徴がある。

6 講 師

大沼 麻実 先生

（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、行動医学研究部、災害等支援研究室長）

7 方法・定員

集合研修（講師も現地にて講義の予定）・定員 80 名

8 申し込み

実施要領またはチラシに添付の二次元コードまたは URL よりアクセスし、申し込みフォームに記入する。

締め切りは8月31日（先着順）とする。

<申し込み用二次元バーコード>



<申し込み用 URL>

<https://logoform.jp/f/sThun>

9 協 力 先

本研修会は「ストレス・災害時こころの情報支援センター」の御協力の元で開催する。

10 備 考

同日午後から同会場で、県保健師対象に研修会を実施する予定（佐賀中部保健福祉事務所主催）。